



工業界／技術者

ダイキン工業株式会社 矢野浩之さん

大阪府立千里高等学校出身
2008年工学研究科博士課程前期課程修了

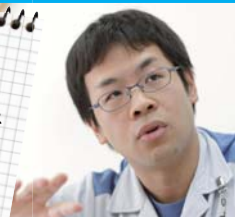
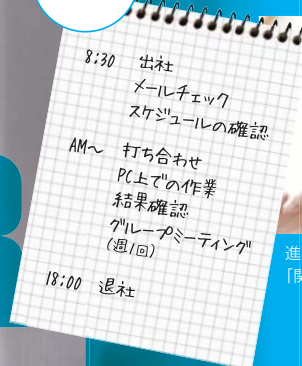
流体解析で改善策を見いだす。
一見、不可能なことをシミュレーションで
実現する、やりがいのある仕事です。

ダイキン工業の化学事業部に所属されている矢野浩之さんの主な仕事は流体解析を用いて製造設備などのガスの流れや熱のシミュレーションを行い、設備の設計や改良に貢献することです。具体的にシミュレーションを行うものは、設備が大きすぎて実施できないものや危険が伴う実験、実際に中の状態を確認できないものの可視化、時間的な問題で回数を減らしたい実験などです。パソコン上での作業が主ですが時には現場にも足を運び実際の成果を確かめることもあるそうです。中国の工場を担当した際にはさまざまな事情で思い通りになっていない現場を見て、パソコン上のシミュレーションとのギャップにショックを受けながらも、同時に面白さも感じたと言います。

「仕事は、パソコンのソフトウェア内で複雑な数式を計算します。正しく意味を理解したうえで適切な事象に数式を使わないと、誤った結果が出てしまう。上司の「ソフトに使われるのではなく、使わなくてはならない」の言葉を心に刻み、もっと理解を深めていきたいです」と熱く語る矢野さん。技術者志望の後輩には「学生時代に勉強したことは、今、仕事上のバックボーンとなって生きています。勉強も遊びも、いろいろな経験をしてほしい」とメッセージをくれました。

今はグループリーダーからテーマを与えられて作業をしているけれど、いずれは自分自身で仕事のテーマを作れるような存在になりたい、と矢野さんは日々奮闘しています。

ある1日の
スケジュール



進行管理のスケジュール帳はもちろん、以前計算した式が確認できる「関数電卓」は必需品とのこと。

ENGINEER